

下松上下水第289号

令和8年6月26日

下松市上下水道事業審議会

会長 伊藤 敏安 様

下松市上下水道局

上下水道事業管理者 大野 孝治



適正な水道料金水準について（諮問）

本市の水道事業は、市民生活や地域経済を支える重要なライフラインとして、安全で安心な水道水の安定供給に努めてまいりました。

また、水道料金につきましては、経営の効率化や経費削減により、平成3年以来、料金改定を行うことなく現在の料金水準を維持してまいりました。

しかしながら、近年は人口減少や節水機器の普及等により料金収入が減少している一方で、施設・管路の老朽化に伴う更新需要の増加に加え、エネルギー価格や資材価格の高騰などにより事業運営に要する費用は増加しております。

令和8年3月に改定した水道事業経営戦略において、財政収支の見通しを試算した結果、現行の料金水準を維持した場合には、今後の経営環境は一層厳しさを増し、将来にわたり健全な事業運営を継続していくことが困難となることが見込まれております。

水道事業は、独立採算を原則としており、将来にわたり安全で安心な水道水を持続的に提供していくためには、安定した財源の確保が不可欠です。

つきましては、持続可能な事業運営を確保するための適正な水道料金水準について、貴審議会のご意見を賜りたく諮問いたします。

